

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		2-	3
事業名	企画経費	会計	款	項	目
		一般	2	1	6
施策	6	語らいのあるまち	課名	政策課	
	6-1	町民参画のまちをつくる	係名	政策係	
	6-1-1	協働によるまちづくりの推進			
主要施策	⑤地域協働のあり方の模索		③広域行政の推進		
	②効率的、効果的な財政運営				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	全町民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	全町民、みんなが喜び輝き幸せを実感できるまち東員。まちに住む人々が健康で生きる力を育んでいる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度からの新総合計画の策定に向け、関係会議の開催などを行う。 ・東員町まち・ひと・しごと創生本部会議と外部人材で構成する東員町まち・ひと・しごと創生懇談会を開催し、総合戦略に基づく施策の効果検証を行う。 ・地方創生加速化交付金事業として「健康活躍のまち」ブランド戦略展開事業と「ええとこやんか三重」県と市町の移住促進事業を実施する。 ・地域力創造のための外部専門家から今後のまちづくりの方向性や手法等について支援を受ける。 ・桑名・員弁広域連合の設置により協働事務を実施する。 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1	総合戦略の効果検証	1	1	2	回		1
2								
3								
4								
5								
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			16,882		14,346		13,511	
財源内訳	直接事業費 A		7,642		3,786		7,175	
	うち一般財源		7,642		3,438		5,994	
人件費 (千円) B			9,240		10,560		6,336	
内訳	一般職員 (人・千円)		1.4		9240		1.6	
	臨時職員 (人・千円)		0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	企画調整委員会において財政状況また、公共施設総合管理計画庁内検討委員会の協議内容を把握の上で進める。	③取組の課題	各課作成資料の明確化と実施計画の公表。
②R2年度に実施した取り組み	令和3年度からの第6次総合計画と総合戦略の策定を行った。また、トータルシステムとして事業評価、企画調整、予算編成などを一連の流れとして取り組んだ。	④今後の改善計画	新たな総合計画の実施に伴い、外部評価も採り入れPDCAサイクルを回していく。